

管理所レビュー VOL.10

(R1.9.4 水源林管理所)

8月23日(金)～24日(土)に予定していた宿泊活動は、23日が雨模様となったため、管理所2階会議室においてロープワークなどの座学とミーティングを行いました。24日は天候が回復したため、予定どおり間伐作業を実施することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

9月に入り、南の海上では台風や台風のたまごである熱帯低気圧が続々と発生しているようです。今後の台風の進路によっては警戒が必要となりますので、注視していきましょう！

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 32名のご参加、ありがとうございました！



2日目は間伐日和に。



道具の準備もしっかりと！



暑い日が続きますが、秋の気配も！

2 二日間の様子。



意見の飛び交うミーティング



副理事長によるロープワーク講習



グッスリ眠って、体調は万全！



材を下から切るテクニックも必要です。



斜面移動時には足元に注意！



重量のある材の移動は注意して！



かかり木発生！



安全な処理のための
ロープの掛け替え時は要注意！



安全に倒すことができました！

3 平成 30 年林業・木材製造業の死亡労働災害分析結果について

林業・木材製造業労働災害防止協会発行 2019 年〔林材安全 8 月号〕に掲載されました「平成 30 年林業・木材製造業の死亡労働災害分析結果について」から一部抜粋して紹介しますので、今後の作業の参考にしてください。

【平成 30 年林業死亡労働災害の概要】

平成 30 年林業死亡労働災害は、厚生労働省発表の確定値で 31 件、うち伐木造材作業が 18 件となっています。18 件の内訳は、自己伐倒によるものが 13 件、他人伐倒によるものが 3 件、造材作業によるものが 2 件となっています。今回は自己伐倒による災害を紹介します。

《自己伐倒による死亡災害の状況》

①自ら伐倒した伐倒木に激突された（7 件）のうち 2 件は、「伐倒木が隣接木等に当たり根元が跳ねて伐倒者に激突した」災害です。原因：伐倒前準備作業時の確認不足とそれに対する措置不足が考えられます。

対策：伐倒前に伐倒木をよく観察し、伐倒方向の吟味とともに伐倒木周辺の確認を行ない、安全な退避場所への退避が行なわれていれば未然に防げたものと考えられます。



根元の跳ね上がりなどに要注意！

②自己伐倒木がかかり木となり、かかり木処理中に激突された（6 件）の内訳は、浴びせ倒し（4 件）、かかられている木の伐倒（1 件）元玉切り（1 件）となっています。

<浴びせ倒し>

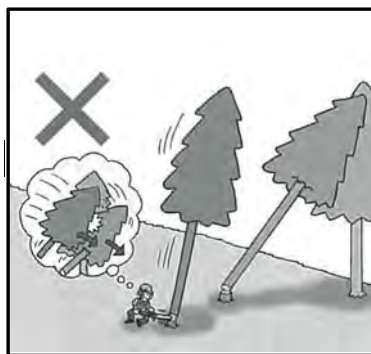
浴びせ倒しは、伐倒木が予期しない方向へ跳ねたり、二重のかかり木になって、さらに処理が困難となり、危険が増します。

<かかられている木の伐倒>

本件は、2 本の伐倒木がかかり木状態となったもので、かかられた木を伐倒したところ、2 本のかかり木が外れ被災者に激突した。

<元玉切り>

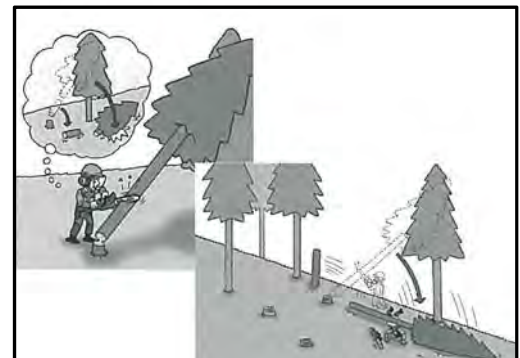
本件は、元玉切りを数回行なったあとにチェーンソーバーが挟まったため、同僚に反対側から押しもらったところ、ガイドバーは外れたが、かかり木の切り口から割れはじめ、かかり木の上部が被災者に激突した。



浴びせ倒し



かかられている木の伐倒



元玉切り

「林業・木材製造業労働災害防止協会 林材安全より一部抜粋」

※日頃から道志水源林ボランティアの会の皆さんは、安全なかかり木の処理を行なっていますが、浴びせ倒しなどの禁止行為が死亡事故につながる大変危険な行為である事をご理解ください。

また、「伐倒木が隣接木等に当たり根元が跳ねて伐倒者に激突した」災害は、道志水源林ボランティアの会の通常の作業でも十分起こる可能性があります。インストラクターは適切なタイミングで安全な場所への退避の指示を行なってください。

※ 9 月 7 日（土）は、晴れのち雨、最高気温 26 度、降水確率 60%の予報となっています。

★それでは 9 月 7 日、気をつけてお越しください。